

評価項目		ルーブリックによるレベル評価						
記号	名称	0	0.5	1	1.5	2	2.5	3
a	数理科学系基礎科目における知識の習得と理解	当該科目の内容の初歩的な部分の理解が不十分である。	0と1の間	当該科目の内容を理解し、標準的な演習問題の解決に応用できる。	1と2の間	当該科目の内容を概ね理解し、数学的理論の流れを把握している。	2と3の間	当該科目の内容を完全に理解し、さらに発展的な内容まで理解を深めている。
b	数理科学系専門科目における知識の習得と理解	当該科目の内容の初歩的な部分の理解が不十分である。	0と1の間	当該科目の内容を理解し、標準的な演習問題の解決に応用できる。	1と2の間	当該科目の内容を概ね理解し、数学的理論の流れを把握している。	2と3の間	当該科目の内容を完全に理解し、さらに発展的な内容まで理解を深めている。
c	数理科学系の専門的知識の活用と応用	最も初等的な演習問題を解くための知識・理解が不十分である。	0と1の間	標準的な演習問題を解くことができ、理論の定着を深めることができる。	1と2の間	学修した理論を正しく適用し、複雑な演習問題にも概ね応用することができる。	2と3の間	高度な知識を有し、難解な問題にも積極的に取り組む高い意欲と忍耐力を持っている。
d	プレゼンテーション・コミュニケーション能力	数学的内容を理解しておらず、発表のための準備が不十分である。	0と1の間	数学的内容を理解し、入念な準備の下、自分の考えを論理立てて説明できる。	1と2の間	数学的内容を理解し、発表を難なくこなすことができ、標準的な質問にも概ね対応できる。	2と3の間	徹底的な理解に基づき、要領よく発表でき、鋭い質問にも余裕を持って対応できる。
e	情報科学系の専門的技術の習得と理解	当該科目で扱う情報技術の、最も初等的な部分の理解が不十分である。	0と1の間	当該科目で扱う情報技術の、標準的な部分を理解している。	1と2の間	当該科目で扱う情報技術を概ね理解している。	2と3の間	当該科目で扱う情報技術に関して、独力で自在に使いこなせる力を身に付けている。
f	外国語文献の読解及び国際社会を生き抜くための語学力	当該科目で扱う題材において、平易な文章の読解力や活用力が不十分である。	0と1の間	当該科目で扱う題材において、標準的な文章を読解でき、さらに活用できる。	1と2の間	当該科目で扱う題材において、比較的複雑な文章を読解でき、さらに活用できる。	2と3の間	当該科目で扱う題材において、どのような文章でも読解でき、さらに活用できる。
g	数学系教員に求められる知識、教育力及び倫理観	教員として求められる最低限の知識、見解及び倫理観が不十分である。	0と1の間	教員として求められる標準的な知識、見解及び倫理観を持ち合わせている。	1と2の間	教員として求められる知識、見解及び倫理観を概ね身に付けている。	2と3の間	教員として求められる知識、見解及び倫理観を十分に身に付けている。
h	幅広い視野と高い倫理観に基づく教養力	学士の学位を授与するに値する教養力が不十分である。	0と1の間	学士の学位を授与するに値する標準的な教養力を身に付けている。	1と2の間	学士の学位を授与するに値する教養力を概ね身に付けている。	2と3の間	学士の学位を授与するに値する十分な教養力を身に付けている。

評価項目		ルーブリックによるレベル評価						
記号	名称	0	0.5	1	1.5	2	2.5	3
a	専門基礎能力	物理学、教養科目に関する基礎知識を理解していない	0と1の間	物理学に関する基礎知識をおおむね理解している。	1と2の間	物理学に関する基礎知識を理解し、問題解決に活用することができる。	2と3の間	物理学に関する基礎知識を生かし、それにより課題を発見できる。
b	専門応用能力	物理学の基礎知識を、専門に応用する能力を備えていない。	0と1の間	基礎知識を、専門に応用する能力をおおむね備えている。	1と2の間	基礎知識を、専門に応用する能力を十分に備えている。	2と3の間	専門に対する応用能力を生かして、興味を持つことに関して、さらに深い知識を身につける。
c	問題発見、解決能力	物理学の理解が不足している状況のため、問題自体を発見できない。	0と1の間	基礎はあるが、まだ問題を自らで発見するレベルには十分に達していない	1と2の間	基礎知識が十分にあり、問題を発見し、それを解決する努力をすることができる。	2と3の間	自らで積極的に問題を発見し、独力で解決できる
d	コミュニケーション能力	物理の基礎知識と専門知識に関して、議論が行えない。	0と1の間	物理の基礎知識に関しては他人にある程度説明できるが、専門的なレベルでは十分でない。	1と2の間	物理の基礎知識と専門知識に関して、他者と議論が行える。	2と3の間	自分自身で見つけた専門的な問題に関して、高いレベルで他者と積極的に議論できる。
e	国際性	英語による思考法と表現力を備えていない。	0と1の間	英語によって思考はできるが、表現する能力は十分でない	1と2の間	英語による思考法と表現力をおおむね備えている。	2と3の間	英語によりプレゼンテーションを行い、外国人と積極的に交流できる。
f	教養に関する理解	教養科目に関する知識が不足している。	0と1の間	教養科目についておおむね理解している。	1と2の間	教養科目に関して十分に理解している。	2と3の間	教養科目に関する深い理解をもっているだけでなく、その素養を専門科目に役立てられる。

TUSルーブリック

(理学部第二部 化学科：2026年度新入生)

評価項目		ルーブリックによるレベル評価						
記号	名称	0	0.5	1	1.5	2	2.5	3
a	基礎学力	評価軸の内容の理解習熟度が未達成（60%未満）	0と1の間	評価軸の内容の理解習熟度がなんとか達成（60-70%程度）	1と2の間	評価軸の内容の理解習熟度がかなり達成（70-80%程度）	2と3の間	評価軸の内容の理解習熟度がおおむね達成（80%以上）
b	基礎専門能力	評価軸の内容の理解習熟度が未達成（60%未満）	0と1の間	評価軸の内容の理解習熟度がなんとか達成（60-70%程度）	1と2の間	評価軸の内容の理解習熟度がかなり達成（70-80%程度）	2と3の間	評価軸の内容の理解習熟度がおおむね達成（80%以上）
c	上位専門能力	評価軸の内容の理解習熟度が未達成（60%未満）	0と1の間	評価軸の内容の理解習熟度がなんとか達成（60-70%程度）	1と2の間	評価軸の内容の理解習熟度がかなり達成（70-80%程度）	2と3の間	評価軸の内容の理解習熟度がおおむね達成（80%以上）
d	実験技術	評価軸の内容の理解習熟度が未達成（60%未満）	0と1の間	評価軸の内容の理解習熟度がなんとか達成（60-70%程度）	1と2の間	評価軸の内容の理解習熟度がかなり達成（70-80%程度）	2と3の間	評価軸の内容の理解習熟度がおおむね達成（80%以上）
e	研究・問題解決能力	評価軸の内容の理解習熟度が未達成（60%未満）	0と1の間	評価軸の内容の理解習熟度がなんとか達成（60-70%程度）	1と2の間	評価軸の内容の理解習熟度がかなり達成（70-80%程度）	2と3の間	評価軸の内容の理解習熟度がおおむね達成（80%以上）